

親切な助言……………052◎

# First Book

第一書

第1章◎ 思考の覚醒……………012◎

第2章◎ 序…ベルゼバブはなぜ、われわれの太陽系にいたのか……………042◎

第3章◎ カルナック号が遅れた原因……………045◎

第4章◎ 落下の法則……………051◎

第5章◎ 大天使ハリトンの方式……………054◎

第6章◎ 永久運動……………056◎

第7章◎ 真の存在義務に目覚める……………058◎

第8章◎ ベルゼバブの孫の生意気な小僧ハセイン、  
人間を「ナメクジ」呼ばわりする……………060◎

第9章◎ 月の生成の原因……………062◎

第10章◎ なぜ「人間」は人間でないのか……………066◎

第11章◎ 現代人の奇妙な精神が有する実に刺激的な特性……………070◎

第12章◎ 最初の「うなり声」……………073◎

第13章◎ なぜ人間の理性は空想を現実として知覚するのか……………077◎

第14章◎ 全体を概観しつつ話しはじめるが、  
どうもあまり楽しい話になりそうもない……………080◎

第15章◎ ベルゼバブ、惑星地球へ初めて降下する……………082◎

第16章◎ 時間の相対的理解……………083◎

第17章◎ 恐ろしく馬鹿げたこと：  
ベルゼバブの主張するところによれば、  
われわれの太陽は熱も光も発していない……………097◎

第18章◎ 恐ろしく途方もないこと……………106◎

第19章◎ ベルゼバブ、惑星地球への二度目の降下について話す……………123◎

第20章◎ 惑星地球へのベルゼバブの三度目の飛行……………142◎

|       |   |      |
|-------|---|------|
| 第21章◎ | ベルゼバブ、初めてインドを訪ねる……………                                 | 154◎ |
| 第22章◎ | ベルゼバブ、初めてチベットを訪ねる……………                                | 159◎ |
| 第23章◎ | ベルゼバブ、惑星地球での四度目の滞在……………                               | 178◎ |
| 第24章◎ | ベルゼバブ、惑星地球への五度目の訪問……………                               | 204◎ |
| 第25章◎ | 非常に聖なるアシアタ・シーマッシュユ、<br>天より地球に遣わされる……………               | 222◎ |
| 第26章◎ | 非常に聖なるアシアタ・シーマッシュユの熟考を伝える<br>「恐るべき現状」と題されたレゴミニズム…………… | 226◎ |
| 第27章◎ | 非常に聖なるアシアタ・シーマッシュユ、<br>人間の生存のために組織を創設する……………          | 234◎ |
| 第28章◎ | アシアタ・シーマッシュユの非常に神聖なる仕事<br>がすべて壊滅したことの元凶……………          | 248◎ |

# Second Book

第二の書

|       |                            |      |
|-------|----------------------------|------|
| 第29章◎ | 前時代の文明の成果と現代文明の開花……………     | 264◎ |
| 第30章◎ | 芸術……………                    | 283◎ |
| 第31章◎ | ベルゼバブの六度目の、そして最後の地球滞在…………… | 329◎ |
| 第32章◎ | 催眠術……………                   | 350◎ |
| 第33章◎ | 職業的催眠術師、ベルゼバブ……………         | 363◎ |
| 第34章◎ | ロシア……………                   | 371◎ |
| 第35章◎ | 宇宙船カルナック、予定のコースを変更する……………  | 411◎ |
| 第36章◎ | ドイツ人についてもう一言……………          | 413◎ |
| 第37章◎ | フランス……………                  | 415◎ |
| 第38章◎ | 宗教……………                    | 435◎ |
| 第39章◎ | 聖なる惑星ペーガトリー……………           | 464◎ |

# Third Book

第三の書

## 第40章◎

ベルゼバブ、人間たちがいかにして根源的宇宙法則  
へプタパラパーシノクを学び、  
そして再び忘却したかを語る……………506◎

## 第41章◎

ボカラのダーヴィッシュユ、  
ハジ・アスヴァッツ・トロウヴ……………538◎

## 第42章◎

ベルゼバブ、アメリカに行く……………565◎

## 第43章◎

人間が周期的に起こす相互破壊のプロセスに関する  
ベルゼバブの概説、……………644◎  
あるいは戦争についてのベルゼバブの見解

## 第44章◎

ベルゼバブの意見によれば、  
人間が理解している正義は、……………681◎  
客観的意味においては呪うべき迷妄である

## 第45章◎

ベルゼバブの意見によれば、人間が自然から電気を抽出し、  
使うことによってそれを破壊していることが、……………697◎  
人間の寿命を縮めている主因の一つである

## 第46章◎

ベルゼバブ、人間に関する情報を  
伝達するにあたって選んだ形式および……………707◎  
順序の重要性について孫に説明する

## 第47章◎

公平無私なる思考活動から必然的に生じた結果……………715◎

## 第48章◎

著者より……………722◎

参考文献……………756◎

用語集……………760◎

訳者あとがき……………770◎